

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切にする三原っ子～



MIHARA TIMES

令和7年5月14日発行

文責 三原小学校長

運動会練習が始まりました。

5月7日（水）、ゴールデンウィークが終わり、学校では、運動会の練習が本格的にスタートしました。朝、早く来て、担当の先生とともに入場行進の確認をする5・6年生の姿があったり、朝の会で「運動会の歌」を元気に歌ったりしています。昼休みには、応援の練習で大きな声を出し、学校のあちらこちらで運動会へ向けて元気な子どもたちの姿が見られます。

6年生は、進級しての4月から準備を進めてきました。まずは、応援リーダーとして、団長や副団長、旗持ちや太鼓打ちなどの役割を決めました。その後、応援の内容を赤、白、それぞれで話し合い、練習を進めてきました。6年生が覚えると、次は、各学年に教えるに行きました。低学年にも優しく教える姿は、頼もしく感じました。

先週からは、全体で合わせての応援練習も始まりました。体育館と運動場に分かれての練習です。どちらも大きな声を出し、一生懸命に練習しています。どうぞ、本番を楽しみにしててください。



学習活動もがんばっています。

子どもたちは、運動会の練習ばかりではなく、普段の学習も頑張っています。

3年生は、5月7日、8日の2日間、町探検を行いました。近くの建物や町の様子を学習しました。新しい発見もあったようです。

1年生は、5月8日、生活科の学習で、「アサガオ」の種を植えました。毎日、アサガオの成長を見るのが楽しみです。

2年生は、5月9日、「ミニトマト」の苗を植えました。庁務員さんに教えてもらいながら楽しそうに植えていました。



長崎大学「突風」メンバーに教えていただきました。

5・6年生は、ソーラン節の練習を頑張っています。5月2日と7日には、長崎大学「突風」のメンバーに来校していただき、ソーラン節を教えていただきました。やはり、日頃から練習している大学生の動きは違います。子どもたちにも、いい刺激になりました。